



コロナ禍の出産、育児の体験談

会員 玉扶持 博 (66期)

1 はじめに

昨年の4月に娘が生まれ3人家族になり、今、娘は1歳4か月である。この機会に、コロナ禍での出産（出産したのはもちろん妻であるが）についてと、ここまでの育児の体験談の中で、特に印象が強かった授乳（ミルク）についてお伝えしようと思う。

2 出産

娘の誕生日は2020年4月25日である。ちょうど初の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言下であったため、出産時の立会も、出産後の面会も一切不可という極めて異例なケースの当事者になってしまった。娘との初対面は、産院を退院して自宅に向かう時のことである。出産から既に5日も経ってしまっていた！

3 新生児期のミルクとその後

よく先輩のパパ、ママから、「子どもが生まれると生活が激変するよ」と言われていたのだが、このことは育児1日目から痛感する（そして、日に日に実感が増していく）。まだまだ育児が始まって1年半足らずではあるが、ある意味一番生活が激変したのが新生児期であった。新生児期は、昼夜問わず3時間ごとに母乳あるいはミルクを飲むのが一般的だが、この3時間というのがくせ者である。我が家はミルク主体だったので、3時間おきにミルクをあげることになる。実際にミルクをあげる前は、「3時間おきなら、ミルクをあげたら3時間くらい休めるじゃん。余裕」と私は（妻も）思っていたのだが、実際にはそんなわけがなかった。ミルクの準備で10分少々、ミルクをあげて飲みきるのに10ないし20分。これだけで30分程度はかかるが、その後も寝かしつけという重要なミッションが待っている。娘は、今でもそうだが、寝かしつけについてはやや手のかかる

子である。新生児期も、なかなか寝付かず30分～1時間、下手をすると次のミルクの時間まで寝ないこともある。哺乳瓶の洗浄もあるので最低2時間程度は要し、次のターンとの間はせいぜい1時間程度しかあかない。ほとんど24時間営業のコンビニ状態である。

結局、我が家は夜から朝にかけて睡眠時間をずらし、私が21時から3時くらいまでを担当し、妻がその後の時間を担当する交代制を採って乗り切った。

新生児期が終わっても、乳児期になるとできることがどんどん増えていき、対応に困ることが増えていく。文字通りなんでも口にするようになるし、娘用の衣装ケースの中身を毎日の業務のごとく全て外に出すなど枚挙に暇がないが、紙面の都合上割愛する。

ここまで大変な思いをした感想に終始したが、私の方を見て笑いかけてくれる時、公園などで楽しく遊んでいるときなど、それ以上に娘と過ごす時間は楽しく、嬉しいことがたくさんある



（ただ、少なくとも、育児をした疲れが吹き飛ぶことはない。あれは嘘だと思う。また頑張ろうという気持ちになれるというくらいで、疲れは蓄積されていくのが本当のところだと思う。それくらい育児は大変だ）。

今後も大変なことは続くと思うが（というかこれを執筆している前後もベッド上で運動会を始める娘の寝かしつけをしたばかりだ）、それ以上に楽しい思い、嬉しい思いをすることであろう。ありがとう娘、ありがとう妻。